

イキイキとがんばる人は光ってる+

今週の輝くひと vol.004

毎日イキイキとがんばっている人は、自然とまわりを明るくします。

そんな宮城の「輝くひと」を紹介するコーナーです。

4回目はウェディングプロデュースブランド「リア・フィーユ」の大元 道子さんです。



「最近では新たな夫婦像を描くドラマが面白いです。最近見ているのは夫婦の新しい形を描くドラマ。私たちのお

「おふたりらしいウェディング」を追求します。ウェディングデザイナーの役割は、接客から式の準備、当日の演出や進行、アフターフォローまで。私たちのブランドでは従来の結婚式の形にとらわれず、お客様と「そもそもおふたりらしいウェディングって？」と考えることから始めます。おふたりの今までの人生やお互いへの想いをかなり深くまで掘り下げ、他にはないオリジナル리티溢れる式を創り上げていくんです。例えば会場選びもそのひとつ。チャペルも素敵ですが、おふたりに縁のある場所であればより印象に残りますよね。公園やカフェ、フットサル場など、今までの結婚式にはなかったような斬新な場所を選んでいただくこともできるんですよ。

お客様も、恋愛関係から夫婦として歩み始めた方々ばかり。式の準備ではなかなか歩みが揃わないことも……。そんなおふたりも、お打ち合わせを通して絆をより強くしていければ良いなと思いつつ日々接しています。

「普段、涙を流して感謝してもらえないことって、なかなかないですよ。今までの印象的だったのはお客様が「大元さんのおかげで人生の記念に残る日になりました」と涙を流して喜んでくださったこと。結婚式の準備には長くて1年ほど時間をかける方もいらっしゃる。その間お客様は今までの人生やお人柄を私にさらけ出しながら準備を進めていかれます。当日、涙しながら感謝していただけた時はとても嬉しくて。華やかで楽しいだけの世界ではなく、お客様の人生に触れる仕事をしているんだなと感じましたね。」



Maison

de RIA-FEUILLE

メゾン ド リア・フィーユ



大元 道子さん Michiko Omoto リア・フィーユ仙台一番町サロン ウェディングデザイナー

異業種からの転職を経て5年前にブライダル業界へ。2016年春、同ブランドの立ち上げメンバーとして入社。休日はウィンドウショッピングをして過ごすことが多く、トレンドのファッションやインテリアなどから仕事に繋がるインスピレーションを得ることも。